

27 度目のリーグ優勝、6 年ぶりに全日本大会へ

東都大学野球春季リーグ戦で母校は、4月27日（水）の日本大学との第2回戦に11対0と大勝して4つ目の勝ち点を挙げ、令和2年の秋季リーグ戦以来通算27度目の優勝を決めました。春季リーグ戦では平成28年（2016年）以来6年ぶりの優勝となり、6月に開催される全日本大学野球選手権大会に出場します。

勝ち点3、単独首位で臨んだ4月26日の日本大学との第1回戦では、エースの青山美夏人（みなと）投手（法学4年・神奈川・横浜隼人高校卒）が完投で今季6勝目を挙げる活躍で先勝。翌27日の第2回戦では、ホームラン3本と相手内野手のエラーやミスなどもあって3回までに10点をあげ、試合を決めました。投手陣も3人の継投で相手打線を1安打に抑えました。これで勝ち点を4とし、2位につけていた青山学院大学が連敗したため最終週の対青山学院大学戦を残しての優勝が決まったものです。